

翻訳者を支援するサイト みんなの翻訳

NICTと東大の共同研究

みんなの翻訳とは？

- 翻訳情報発信の統合サイト
 - 個人でもグループでもみんなが・みんなで使える
 - 多言語の情報流通を促進
- 高度な翻訳支援機能
 - 三省堂の協力で高品質の辞書を提供
 - 最大30%以上の時間削減と下訳の品質向上
- 人間と機械が共に賢くなるサイクル
 - 翻訳データの活用による機械翻訳のブレークスルー
 - さらに高度な翻訳支援による翻訳文化発展への寄与

クリエイティブ・コモンズなウェブコンテンツ

- ライセンスの付与されたコンテンツは1億3000万(2008年)
- 2007年約6000万→2008年には2倍以上に急増
- NGO／NPO／国連／ブログなどの多くは、クリエイティブ・コモンズの的
- 国境を越えた情報流通を支える枠組み
- 多くの翻訳ボランティアがこれら文書を翻訳

ボランティア翻訳の問題

- 翻訳ニーズは膨大・急増
 - 定常的な時間と人手不足
 - 組織性と引継ぎの問題
- ネット上で潜在的な翻訳者志望者は多い
 - 訳質コントロールの欠如
 - 潜在者→試行者→定常翻訳者へのパスの欠如
- 翻訳効率と質の改善
- 統合環境による翻訳者と読者のコミュニティ

オンライン翻訳のプロセス

- 翻訳の時間配分
 - 辞書引き 10～30パーセント
 - サーチエンジン 10～40パーセント
 - 翻訳文の作成 20～50パーセント
 - 翻訳の修正と校正 0～10パーセント

25～50パーセントは辞書引きとネット上の調べ物

翻訳支援エディタQRedit

- 辞書引き負担の軽減
 - 三省堂『グランドコンサイス英和辞典』を利用
 - 熟語の自動検索
- オンライン調べ物時間の軽減
 - Wikipediaの大規模辞書化
 - サーチエンジンの呼び出し
 - ユーザ用語辞書との連携
- 辞書引きと調べ物の負担削減→質の向上